

視察（研修）報告書

平成 28 年 8 月 5 日

府中市議会議長 様

会派名又は

議員名 檜 崎 征 途

日 時	平成 28 年 7 月 30～31 日
視 察（研修）先	神戸市
視 察（研修）項目	人口減少社会と地域の再生・子ども・子育て支援制度とホンモノの子育て保障
参 加 者	檜崎征途
視 察（研修）内容	・我が国の「地方創生」政策は、自治体に人口ビジョン地方版総合戦略を作って地方創生の努力をさせながら、一方で「連携地方中核都市圏」とか「定住自立圏」を設定してそういうところに選択的・集中的に公共投資をつぎ込む。 ・国や地方公共団体の保育実施責任を解除して保護者に負わせるように法を変える。 保育料について、所得税額から市町村民税への変更と年少扶養控除・特定扶養控除の廃止の影響。
所 感	・我が国の人口減少は国際比較を見ると、2000年ごろからのスピードが他の国に比べて際立って早くなっている。 地域総合戦略の目標を達成できなかった自治体、連携地方中核都市圏から外れた自治体は、人口減で自治体が維持できなくてもやむを得ない考えに立っている。府中市は、市街地を優先的に整備。そこから外れる住民から不満の声を聞く。 ・新制度により、子どもの多い世帯では年少扶養控除の影響が大きく、保育料が上がる。民間と、公営の保育士の待遇に差があり保育士不足は依然と深刻。 府中市は、待機児童はゼロであるが、乳幼児が増えない実態の改善を図る施策を。仕事場の確保・賃金アップ・子育て環境の整備など行政が支援を